

笑顔の贈り物、バルーンアート

バルーンアートの魅力

2011年に発足したオロロン・バルーンアート・サークルは、18名でスタートしました。

バルーンアートとは、風船で動物などを作る身近な芸術で、大道芸に通じるエンターテインメントの世界です。

発足まもなく、『うまいよ！るもい市』の会場で、犬やキリン、花などを作って子ども達へプレゼントしました。屋外のイベント、るもいプラザでの催しものでのアートパフォーマンスはなくてはならない存在です。赤、黄、青、緑、色とりどりの風船に命を吹き込むように動物や剣、アニメのキャラクター達を次々と形づくっていきま。風船を巧みに扱う会員の周りには、子ども達が集まり、好奇心にあふれた表情で出来上がりを待っています。

「日本の風船からおもいがけなく、いろんなものを作り出せるのが魅力。子ども達に手渡したときの笑顔が、私達にとっての贈り物です」と話す代表の下山園恵さんです。

広がる輪

サークルの活動が2年目を迎えた2012年は、留萌市内だけでなく、羽幌町の甘えびまつり、小平町の産業まつりへ参加しました。苦前町などでの講習会開催や、イベント参加のほか高齢者や障がい者の施設も訪問しています。

なんといつでも市民の目を惹いたのは、今年初めて開催された「やん衆盆踊り」での仮装でした。風船で作ったドレスをまとった会員の姿が大いに会場を盛り上げました。

イベントに華やきを添え、作る楽しさも伝える、まさに笑顔の贈り物です。現在、会員は10代から70代まで50名を越え、風船のように「まあるいまあるい輪」が広がっています。

イベント会場ではバルーンアートのつべんに大きなタコが掲げられ世代を問わず多くの人々に喜ばれています。これからも、笑顔の贈り物で留萌を元気にするオロロン・バルーンアート・サークルです。



昨年10月にるもいプラザで開かれたハロウィンのイベント会場にて



昨年11月29日に開催された講習会ではサンタクロース作りにチャレンジ



徐々に姿形がみえてくると笑顔がこぼれる

オロロン・バルーン
アート・サークル

[問い合わせ]

留萌振興局地域政策課

☎ 42-8421 (直通)